

## 令和4年度 市議会意見交換会「議員と語っちゃオ！！」記録 ①

日 時 : 令和4年10月11日(火) 午後7時～午後8時30分  
会 場 : 四賀公民館  
参加市民 : 7人  
テ ー マ : 「地域の課題」について  
実施方法 : 市民、議員を2グループに分けて意見交換・懇談後、市民による発表

### 1 学校・通学について

- 飯島橋廃止の影響が大きい。通学の距離が増えた。特に中学は交通量の多い広瀬橋、車橋経由。
- 小学校の将来が見えない。四賀小と中洲小の合併は。
- 通学路わきに巨木があり枝が道にはみ出ている、危険。
- 制限速度 30Km 区域で移動式オービスを使い、その内容を新聞報道した地区がある。しかし継続が必要。
- 市道山浦線・桑原 JR ガード下道幅が狭い。通勤の時間と重なり危ない。子ども達がいともかなりのスピードを出して運転している。どうにかならないか？
- 交通量の調査をする。
- 速度規制の取り締まり。
- 警察・交番の協力をお願いする。
- 鎌倉街道を復活させて、そこを通学路にする。
- 通学路に立っているだけでも効果がある。減速の意識をさせる。
- グリーンベルト、スクールゾーンの設置。
- 地域住民の意識共有。

### 2 交通関係について

- 諏訪市の道路は狭く貧弱。また、オーバーレイや側溝のグレーチングなど段差が多い。子どもや高齢者の通行に支障がある。
- 市道の改良の順位付けがよくわからない。計画性をもってやってほしい。

### 3 防災減災・災害時の対応

- 異常気象対策が必要。特に中門川上流は草刈りや浚渫などの整備が長年行われていない。大雨の時に不安。
- 大本の諏訪湖の治水対策を考えてほしい。浚渫が必要。
- 普門寺区、赤津川のレッドゾーン解消を推進してほしい。
- ハザードマップの避難所は適正か。四賀小・諏訪南中も広域避難所になっているが、災害時大丈夫か。
- 災害時の避難の判断・仕方・責任を地区で行うのは荷が重すぎる。
- 老朽化している橋がある。県の優先順位や対応が分からない。
- 中門川上流は十数年前に計画を考えてもらったが、絶滅危惧種のトンボが生息しているとして自然保護団体の反対で立ち消えた。地区としてその後の動きはあるのか。
- 市で橋梁の長寿命化施策として橋の確認を行い、優先順位付けを行っているはず。

### 4 市政について

- 四賀地区の将来、特に旧道沿いの将来が見えない。
- 6市町村合併をどう考えるのか。

## **5 高齢化・自然活用について**

- 東山側、旧道上の地域は高齢化が著しい。雪かき・買い物など生活支援が必要。
- 東山から霧ヶ峰をつなげるプランが必要。

## **6 観光資源の活用について**

- 飛騨高山市の1/10の集客しかない。高山市に比べて観光資源はたくさんある。温泉・諏訪湖・諏訪大社等。有効に活用できないか？
- 区内に史跡がたくさんあるので、史跡を巡る散策マップを作っている。駐車場とトイレが問題となっている。
- 駐車場・トイレの候補地が決まっているのなら、国・県・市の補助金を活用してみてはどうか。
- 鎌倉街道を復活させ、PRしていく。
- 説明看板を設置して、QRコードを付けて案内をする。
- 諏訪塾の人や諏訪塾で発行する冊子を活用して、散策をする。

## **7 道の駅について**

- 「道の駅」を東山地区、四賀、西山地区に作ったらどうか
  - ・四賀地区…アサヒパチンコの跡地
  - ・中洲地区…上社の広い駐車場
  - ・ガラスの里付近
  - ・東バル跡地
- そこでお葉漬けの氷漬けを復活させて売る。  
諏訪人が野沢菜漬けを食べていてはいけない。お葉漬けを食べなくてはいけない。
- 規模が大きなものでは経営が難しいと思われるので、小規模なものにしたらいいのではないか。